

平成26年度 第9回教育研究評議会議事要録

日 時 平成27年1月15日(木) 14:00～16:00
場 所 事務局第1会議室
出席者 三村学長, 伏見理事, 尾崎理事, 米倉副学長, 太田副学長,
佐川人文学部長, 生越教育学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長,
久留主農学部長, 高橋図書館長, 佐藤大学教育センター長, 斎藤評議員,
澁谷評議員, 荒川評議員, 小野寺評議員, 天野評議員, 田内評議員,
伊藤評議員, 増澤評議員, 中石評議員, 新田評議員

欠席者 袖山理事

陪席者 増子監事, 馬場監事, 内田学長特別補佐, 木村学長特別補佐,
羽瀧学長特別補佐, 大塚執行部スタッフ, 原口執行部スタッフ,
総務部長, 学務部長, 学術企画部長, 総務課長, 人事課長, 労務課長,
監査主幹, 財務課長, 契約課長, 企画課長, 各学部事務長

議 題

審議事項

- 1 ブルガリア共和国ソフィア大学との大学間交流協定の締結について
- 2 教員の休職について
- 3 学生の懲戒処分について

報告事項

- 1 地方創生に対する取り組みについて
- 2 教員の採用について
- 3 教育振興局施設教員の採用について
- 4 学術振興局施設教員の採用について
- 5 年俸制の導入に伴う賃金規程の改正について
- 6 TOEICを活用した「総合英語プログラム」の強化と充実について
- 7 「自然災害に対する休講措置の申合せ」の改正について
- 8 平成25年度決算検査報告事項の周知徹底について
- 9 監査室定期報告

配付資料

- 1 ブルガリア共和国ソフィア大学との大学間交流協定の締結について
- 2 教員の休職について
- 3 学生の懲戒処分について
- 4 地方創生に対する取り組みについて
- 5 教育振興局施設教員の採用について
- 6 学術振興局施設教員の採用について
- 7 国立大学法人茨城大学教職員賃金規程【年俸制対応の改正案】
- 8 TOEICを活用した「総合英語プログラム」の強化と充実
- 9 「自然災害に対する休講措置の申合せ」の改正について
- 10 平成25年度決算検査報告事項の周知徹底について
- 11 監査室定期報告(平成27年1月)
- 12 2015年年初における大学運営の課題について
- 13 アクティブラーニング講習会「今在る授業で実践できるPBL」
- 14 「愛と傷つきやすさと被害者学の共同セミナー」
(第10回ジョイントセミナー)

議 事 概 要

I 議事要録の確認

学長から、平成26年度第8回教育研究評議会議事要録については、既にホームページに公表済みである旨、報告があった。

II 2015年年初における大学運営の課題について

学長から、平成27年最初の教育研究評議会にあたり、「2015年年初における大学運営の課題について」机上配付資料に基づき説明があった。

III 審議事項

1 ブルガリア共和国ソフィア大学との大学間交流協定の締結について

学長から、ブルガリア共和国ソフィア大学との大学間交流協定の締結について、審議願いたい旨の提案があった。さらに、尾崎理事から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、提案どおり協定を締結することが承認された。

なお、大学間交流協定締結計画書に記載する連絡担当者については、組織として対応をすべきである旨の発言があり、個人名は削除することになった。

さらに、学術交流協定書に担当部署の明記がないことから、明記すべきである旨の発言があり、今後は、国際交流関係組織の再編を見据えて統一的な対応が図れるよう、包括的な在り方を検討することになった。

2 教員の休職について

学長から、教員の休職について、審議願いたい旨の提案があった。さらに、人文学部長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり承認された。また、休職にあたって、診断書との関係で事前に教育研究評議会に諮れない事案もあり、その場合には事後承認等とすることが了承された。

3 学生の懲戒処分について

学長から、学生の懲戒処分について、審議願いたい旨の提案があった。さらに、伏見理事及び農学部長から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

IV 報告事項

1 地方創生に対する取り組みについて

学長から、地方創生に対する取り組みについて、「まち・ひと・しごと創生法」の成立及び「長期ビジョン」、「総合戦略」の閣議決定を受けて、茨城県が設立した「県まち・ひと・しごと創生本部」への企画提案及び事業実施に大学として積極的に協力していきたい旨、資料4に基づき報告があった。

2 教員の採用について

人事課長から、1月1日付けで教育学部に採用された教員について、資料5に基づき報告があった。

また、学長から、教員の採用については、今後も教育研究評議会でも報告していきたい旨の発言があった。

3 教育振興局施設教員の採用について

伏見理事及び大学教育センター長から、2月1日付けで大学教育センターに採用予定の任期付教員について、資料6に基づき報告があった。

- 4 学術振興局施設教員の採用について
尾崎理事から、1月1日付けでフロンティア応用原子科学教育センターに採用された任期付教員及び2月1日付けで社会連携センターに採用予定の任期付教員について、資料7に基づき報告があった。
- 5 年俸制の導入に伴う賃金規程の改正について
人事課長から、年俸制の導入に伴う賃金規程の改正について、資料8に基づき報告があった。
- 6 TOEIC を活用した「総合英語プログラム」の強化と充実について
伏見理事から、TOEIC を活用した「総合英語プログラム」の強化と充実について、資料9に基づき報告があった。
なお、TOEIC 試験の成績については有効期間が2年間であることから、就職活動にも利用できるよう、実施時期を検討していきたい旨の発言があった。
また、学長から、諸制度の導入等に関しては、関係委員会で審議し、その結果を各学部にも周知した上で、教育研究評議会に報告願いたい旨の発言があった。
- 7 「自然災害に対する休講措置の申合せ」の改正について
学務部長から、「自然災害に対する休講措置の申合せ」の改正について、運用上問題があったことから見直しを図ったものである旨、資料10に基づき報告があった。
- 8 平成25年度決算検査報告事項の周知徹底について
監査室長から、平成25年度決算検査報告事項の周知徹底について、資料11に基づき報告があった。
- 9 監査室定期報告
監査主幹から、監査室定期報告（平成27年1月）について、資料12に基づき報告があった。
- 1 1 アクティブラーニング講習会について
内田学長特別補佐から、1月28日に開催予定のアクティブラーニング講習会「今在る授業で実践できるPBL」について、机上配付資料に基づき報告と参加要請があった。
- 1 2 「愛と傷つきやすさと被害者学の共同セミナー」について
澁谷評議員から、「愛と傷つきやすさと被害者学の共同セミナー」（第10回ジョイントセミナー）について、机上配付資料に基づき報告と参加要請があった。
- 1 3 教育研究経費の繰越について
学長から、教育研究経費の次年度への繰越について、今年度予算から試行的に実施するものであり、詳細については改めて各部局等に周知する旨、口頭で報告があった。
- 1 4 中期目標・中期計画の変更手続きについて
学長から、平成26年度「地（知）の拠点整備事業」の採択に伴う、中期目標・中期計画への追加記載について、1月30日までに文部科学省に提出する必要があることから、変更手続書類については、2月の教育研究評議会に事後報告させていただく旨、口頭で依頼があった。

1 5 昇給通知について

学長から、1月1日の昇給実施に伴い、今回から給与明細に昇給区分を明記して通知することとした旨、口頭で報告があった。

1 6 受験生の確保について

学長から、(株)ベネッセホールディングスへ、近隣の大学も含めた大学の入試動向調査を依頼していたが、この度報告書がまとまったことから、各学部へ1部配付するとともに、1月28日(水)に報告会を開催するので参加願いたい旨、口頭で報告と依頼があった。

なお、報告書の調査項目以外に調査希望がある場合には、大学戦略・IR室に申出願いたい旨の発言があった。

IV 監事からの意見

監事から、以下のとおり意見があった。

① 統一的な会計処理について

内部監査に同行させていただいて、基本的な会計処理の部分でも、事例によっては担当職員が悩んでいるような事例が見受けられた。判断に迷うような事例については、関係各課で大学としての方向性を決めて処理することにより、大学としてリスク軽減を図ることが出来るのではないかと。

② 教員の採用報告について

教員の選考・採用については、教育研究評議会の審議に基づき定めた選考規則等に則り行われているかどうかの確認と、全学的な情報共有の観点から、教育研究評議会への報告は継続していただきたい。

V その他

教育研究評議会会議資料の公開について

学長から、教育研究評議会会議資料の公開について、以下のとおり確認があった。

公開：資料1，4～12，机上配付資料

非公開：資料2

回収：資料3

○ 次回教育研究評議会開催 2月12日(木) 10時から